

聖学院小学校

[理事長] 田村 綾子

[校長] 田村 一秋

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1 TEL 03-3917-1555 <https://primary.seigakuin.ed.jp>

【交通】JR山手線・東京メトロ南北線駒込駅より徒歩6分、JR上中里駅より徒歩12分

すべてのことに感謝し
他者のために奉仕できる人に

神を仰ぎ 人に仕う “Love God and Serve His People”

幼稚園から大学、大学院までを有する聖学院は、今年創立123年目を迎えます。「神を仰ぎ 人に仕う」を教育理念として、他者のために奉仕できる人を目指します。

小学校は「よく学ぶ よく遊ぶ よく祈る」という教育目標のもと、一人ひとりに与えられている才能や能力をそれぞれにのばすことができる場所です。英語や表現活動、ワークショップ型授業などを通して新しい可能性に挑戦します。

こどもの成長に合わせた さまざまな「学び」

聖学院小学校では、こどもたちがバランスの取れた豊かな学びが進められるようにさまざまな取り組みを行っています。

授業での学び ●全クラスがオープンスペースになっていて、ワークショップ型の授業を多く取り入れています。活動を通じた学習により、自分で考え、友だちの考えに耳を傾け、より深い学びへとつながるように授業を進めています。また「表現」や「ハンドベル」「宗教」など特色のある授業も行っています。

宿泊行事での学び ●こどもたちの成長に合わせた宿泊行事を系統的に行っています。災害時も想定して学校に泊まる1年生「なかよしキャンプ」、自然の恵みに感謝し、さまざまな体験を通して学ぶ2年生「自然学校」3年生「清里自然学校」、雪国でのクロスカントリースキー体験をする4年生「冬の学校」、アクティビティを通し英語と向き合う5年生「イングリッシュキャンプ」と続きます。そして6年生では小学校生活のまとめとして、長崎を中心に歴史や宗教、そして平和について考え学ぶ「修学旅行」を経験します。

国際交流での学び ●英語の授業は1年生から週に2時間行っています。4技能（話す、聞く、読む、書く）に加え、CLILと呼ばれる他教科と統合させた生きた英語学習を進めています。また、希望者には海外プログラムとして「ニュージーランド親子ショートステイプログラム」「オーストラリアホームステイプログラム」を実施しています。



沿革

学校法人聖学院は、今年創立123年目を迎える幼稚園から大学、大学院まで備わっている教育機関です。聖学院小学校は女子聖学院中高を母体として、1960年（昭和35年）女子聖学院小学部として創立され、1966年（昭和41年）、法人組織の変更に伴い聖学院小学校となりました。創立以来一貫してキリスト教の信仰に基づく教育を続けています。

2027年度募集要項

募集人員：男女72人（内部進学者含む）

出願期間：10月1日～10月7日

入学検定料：25,000円

入試面接日：10月17日

入試日：11月4日

選考内容：ペーパーテスト、面接、行動観察

合格発表：11月4日

【かかる費用】

入学金：250,000円 施設拡充費：100,000円

授業料：522,000円（年間）

施設費：90,000円（年間）※このほか教材費など

併設中学進学状況

◆聖学院中学校（男子16人）

◆女子聖学院中学校（女子25人）

※成績等が基準に達した者は進学可能

併設中学以外の進学先（2026年春）

【男子】開成、渋谷教育学園幕張、桐朋、広尾学園、明治学院、立教新座など

【女子】跡見学園、桜蔭、学習院女子、女子美術大学付属、玉川聖学院、東京女学館、東洋英和女学院、豊島岡女子学園、立教女学院など

データパック

◆児童数420人（男子200人、女子220人）

／教員数30人

◆26年度応募者数：125人

◆合格者数：男女88人

【併設校】○聖学院幼稚園 ○聖学院みどり幼稚園
○聖学院中学校・高等学校 ○女子聖学院中学校・高等学校 ○聖学院大学 ○聖学院大学大学院

上級学校に進むには

在学中の成績その他が基準に達すれば、男子は聖学院中学校へ、女子は女子聖学院中学校への推薦入学の道が開かれています。

一人ひとりの“たまもの”を生かして

校長 田村 一秋

日本でのキリスト教伝道者を育てるため、アメリカの宣教師が東京の文京区本郷に最初の聖学院「聖学院神学校」を建てたのが今から約120年以上前の1903年でした。それから「神を仰ぎ 人に仕う」という建学の精神のもと、現在は幼稚園から大学、大学院までを有するキリスト教教育の総合教育機関へと成長しました。

その中であって聖学院小学校は1960年に創立。神さまから一人ひとりに与えられた“たまもの”（才能や素質などの「その人らしさ」）を大切にし、さらに生かしつつ、共に成長する学びを大切にしています。

学校目標「よく学ぶ よく遊ぶ よく祈る」にある「よく」には「たくさん」という量的な意味に加え質的な思いも込められています。それぞれの“たまもの”を生かし、しっかり学び、遊び、祈ることは、他者のために愛をもって仕える思いや行いへとつながります。